

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成21年12月30日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2770108468		
法人名	おおとり福祉会		
事業所名	ほがらか鳳グループホーム		
所在地	大阪府堺市西区鳳東町五丁460番地 (電話) 072-272-0027		
評価機関名	特定非営利活動法人 カロア		
所在地	大阪市天王寺区堀越町1-1 四天王寺堀越ビル		
訪問調査日	平成21年12月17日	評価確定日	平成22年2月5日

## 【情報提供票より】( 年 月 日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	昭和・平成 1 年 11月 1日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	6人
職員数	14人	常勤 4人, 非常勤 10人, 常勤換算 3.1人	

## (2) 建物概要

建物構造	RC 造り	
	3階建ての	~ 1階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	13,000 円
敷金	有( 300,000 円)	無	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( 円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり	1,600 円	

## (4) 利用者の概要( 12月 1日現在 )

利用者人数	6名	男性 1名	女性 5名
要介護1	1	要介護2	2
要介護3	3	要介護4	0
要介護5	0	要支援2	0
年齢	平均 88歳	最低 76歳	最高 95歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 喜多クリニック・医療法人 成智会 石橋歯科医院
---------	------------------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

JR鳳駅から徒歩5分のところにあり、周囲には幹線道路や商店街、スーパー、区役所があり非常に便利な立地条件です。玄関前には木製のベンチ、鉢植えが設置されており、いつでもご利用者同士・職員との団欒が取られるようにされています。玄関の鍵は閉めずにいつも開放されており、出かけた際には職員がそっと付き添われ、それが自然の流れの中で行われています。ホーム内は手狭に感じられましたが、家庭的な雰囲気を大切にされています。また、職員は私服で対応しており優しく話しかけ、大切な家族の一員としてお一人お一人を理解しようという気持ちが伝わってきました。

## 【重点項目への取組状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	<p>昨年の外部評価での課題について積極的に職員同士で検討され、ご利用者と共に穏やかに生活が出来るよう業務改善を行い、サービスの質の向上に向けて取り組まれていました。</p> <p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価の課題について、ご利用者の生活を第一に考え、業務改善を取り組もうとする前向きな姿勢が伺えました。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>運営推進会議は2ヶ月に一回のペースで開催されておりホームの取り組みを報告し意見を頂くなど運営推進会議を通して地域との交流を促進していくとされていました。</p>
	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>面会時にその都度、御本人の様子をお知らせしたり、また面会の少ないご利用者の家族には電話連絡を月に一度は行い、様子を連絡されていました。面会時には職員から声かけを行い、ご意見などを聞かれ意見などがあれば瞬時に受け止め直ちに改善に向けて対応されていました。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域の行事に積極的に参加されており、地元の人々との交流をはかり、また行事参加の際には、役員の方を中心に地域住民の方々にも理解や支援を働きかけるなど、地域自治会役員の方との連携を密に取られていました。</p>

## 2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>1. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念に安らぎと自信を持つことが出来、地域の一員として地域で生活していき、自らが決定できる様に支援していく事を掲げ、職員はご利用者と共に楽しみ、自己研鑽に努めるように取り組まれていました。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	玄関に掲示すると共に職員ひとりひとりが常時携帯しており、仕事前には目を通す事を日課とし、職員一同が理念を共有し実現に向けて取り組まれていました。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事(掃除・お祭り)に積極的に参加されており、地元の人々と交流をはかり、また行事参加の際には、役員の方を中心に地域住民の方々にもホームへの理解や支援を働きかけていました。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	昨年度の、自己評価と外部評価の結果を検討し、ご利用者と共に穏やかに生活できるよう業務改善を行いサービスの質の向上に向け、職員の意識付けを徹底出来る様に心がけていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>運営推進会議は2ヶ月に一回のペースで開催されており、メンバーはご利用者・ご利用者の家族・市役所職員・自治会役員・ホームの役員で構成されホームでの取り組みについて報告し意見を頂いており、会議を通して地域との交流を促進していこうとされていました。</p>		
6	9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>地域包括の方や自治会の方からも意見や相談など情報のやり取りをしており連絡が密にとられていました。</p>		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>面会時にその都度御本人の様子をお知らせしたり、また面会の少ないご利用者の家族には電話連絡を月に一度は行い、様子を連絡されていました。金銭管理については、キーパーソンが面会時に確認するなどの対応をとられていました。</p>		<p>御家族が一ヶ月以内に面会に来られたときには、出納帳を確認しサインをしていただいています。</p>
8	15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時には職員から声かけを行い、ご意見などを聞かれ、意見などがあれば瞬時に受け止め直ちに改善に向けて対応されており御家族の意見が反映されていました。また、ご意見箱を設置していましたが意見・要望が入っていない様子でした。</p>		
9	18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>法人内の適した人材をグループホームに配置し、早い段階で引継ぎなどを行い、ご利用者と職員の関係保持に努めた人事異動を心がけていました。</p>		<p>日頃より併設のデイサービスや厨房・事務所の職員との交流を持つ機会を増やして馴染みになることにより人事異動時のダメージを最小限に抑えるよう努力していました。</p>


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>外部研修会の参加を積極的に行われており、また法人全体の研修への参加もされるなど職員育成に意欲的に取り組んでいました。</p>		
11	20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム連絡会に月一回参加するなど盛んに行い、他事業所の方との連絡も密に行われており、日々質の向上に努めていました。</p>		
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>御本人・御家族が安心して入居して頂けるよう事前にホームに見学に来て頂くなどされており、また馴染みの友人や職員が会いに来るなどし不安を取り除くよう配慮されていました。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>利用者が出来る事を継続して出来るように職員が共同し行うなど、職員とご利用者同士が共に助け合う関係が見受けられました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p>日々の取り組みの中で傾聴・受容を基本に考え、御利用者が過ごしたい生活へ繋げられるよう努力していました。</p>		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p>介護支援専門員が中心となり、御本人・御家族・介護職員・看護師・医師の意見を踏まえ、計画作成前にカンファレンスを行い職員間で意見を出し合い介護計画を作成されていました。また介護計画書には御本人または御家族の署名がされておりその都度、説明をされていました。</p>		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p>定期的な評価のほかにモニタリングを随時行い、状態変化に応じて対応されるなどし、また御本人・御家族の意見の聞き取りなどを行い介護計画に取り組みされていました。</p>		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	<p>事業所の多機能性を活かした支援</p> <p>本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている</p>	<p>御本人・御家族の状況に応じて通院の支援や外出・外泊などの要望に柔軟に対応していました。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<b>かかりつけ医の受診支援</b> 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週に一回の医師・歯科医の往診や訪問看護の訪問もあり、24時間オンコール体制がとられていました。また、御本人が希望する医療機関にも受診が出来るよう対応されていました。		
19	47	<b>重度化や終末期に向けた方針の共有</b> 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの指針を作成し、御家族に説明するなど、終末期のあり方について話し合いを持たれたりされ、出来る限りの対応をしようという強い気持ちを感じられました。		
<b>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
<b>(1) 一人ひとりの尊重</b>					
20	50	<b>プライバシーの確保の徹底</b> 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	御本人の訴える言葉の裏にあるものを理解しようと心がけるなど、さりげない言葉かけが行われており、御本人を大切にされている思いが伝わってきました。		
21	52	<b>日々のその人らしい暮らし</b> 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご希望があればいつでも散歩や買い物に出掛けなどひとりひとりの状態や思いに配慮されており、その人ひとりひとりのペースで生活できるよう対応されていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の準備・片付けの際には、ご利用者と共に行えるよう支援されていました。また日常会話から食べたい物を聴き取りメニューに取り入れるなど柔軟に対応されていました。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	職員の状況で時間帯を決めるのではなく、ご希望通りの時間帯・入浴時間で入浴していただくなど、ご希望に沿った支援がなされていました。また、時々併設のデイサービスのヒノキ風呂を利用するなど入浴を楽しむ工夫されていました。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	食事作り・園芸・手芸など個々の出来ること、興味のあることを把握し支援されていました。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	近くにスーパーや商店街があり、買い物や散歩を日々の日課にされており、また外食に出かけた地域への行事にも積極的に参加されていました。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	日中、玄関の鍵はかけておらず、センサーチャイムにより人の出入りを確認していました。一人で出かけようとする方にはさりげなく職員が付き添うなどの対応がとられていました。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待 したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>消防署の立会いで年2回の避難訓練を実施していました。また地域の避難訓練にも積極的に参加されていました。災害に備えた備品についてはホーム内にスペースがない為、法人本部でアルファ米の備蓄をされておりました。</p>		<p>ホーム独自の災害マニュアルの作成を進めており、また本部だけでなくホームでも備蓄できる物はないか考えていこうとしていました。実施される事を期待します。</p>
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>献立は基本的に法人内の管理栄養士が立てていますが、ご利用者の意見や希望を伺いながらその都度管理栄養士へ報告するなどしていました。一人ひとりの食事や水分量を日誌に記録し職員が情報を共有していました。</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家庭的な雰囲気になるよう、装飾など季節感のあるものをご利用者と共に考え手作りするよう心掛けていました。また日の当たるところにはカーテンをつけるなど光を和らげるなどの対応をされており落ち着いて過ごせる環境作りに配慮されていました。</p>		
30	83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>家具・生活用品・食器に至るまで、御本人が使い慣れたものを持ち込んでいただくなどされており、また御本人・御家族との話し合いで居室の様様替えなども行い御本人が落ち着いて生活できるよう配慮されていました。</p>		

 は、重点項目。

WAMNETに公開する際には、本様式のほか、事業所から提出された自己評価票(様式1)を添付すること。